

第四班報告

真栄里仁、秋山宏治、中島百合、桑田美子

- 日程:平成23年4月5日(火)～4月10日(日)
- メンバー:
真栄里仁(医師)、秋山宏治(事務)、中島百合(看護)、
桑田美子(心理)
- 主要担当地区:大船渡地区、末崎地区
- 診察人数:40名弱



日程

- **4月5日(火)**
5時久里浜出発。14時55分大船市役所到着。第4班の診察に同行し、17時より、各種カンファに参加。
- **4月6日(水)**
前日同様に、4班診察に同行。14時に4班が帰神後は単独で新規、再診患者診察。
- **4月7日(木)**
午前中は再診患者を中心に診察。午後は、“チームのお知らせ”のリニューアルと書類整理。
- **4月8日(金)**
前夜の地震の影響もあり、午前中は真栄里・秋山で朝のカンファ出席後に現地の道路事情確認し、午後より訪問診療。
- **4月9日(土)**
自宅への訪問診療を中心に活動を行う。自殺企図のうつ病Ptを大船渡病院へ搬送。
- **4月10日(日)**
引き継ぎケースの、うつ病患者を第6班と合同で診察後、9時40分に現地出発し、18時帰院。





前チームからの業務上の変更点

- 沖縄県の心の医療チームの参加(4月6日～)による、担当地区(赤崎地区)の減少と、地区担当性の明確化。
- 医療チーム話し合い(17時45分～18時)後の、こころの医療チーム3チームだけによる、話し合いの定例化。
- 身体科と心の医療チームの役割分担の明確化。



当チームの活動

- 自殺企図患者を大船渡病院へ搬送:

自殺企図後も受診や入院を渋る单身生活のうつ病患者を説得により、入院へと結びつけた。(中島)

- 患者資料の整理:

時系列的に診察が行われ、未整理だったために、同一患者のカルテが二つあるなど混乱が見られたために、整理すると同時に、リストを作成した。(桑田)

- 久里浜チームのお知らせの刷新

コンサルトをし易くする目的で、文言を一新した。(中島、桑田)

- カウンセリング

家族と生き別れになった女性に対する心理面接(桑田)

- ナビの患者宅情報インプット(秋山)

- 余震への対応

停電、ガソリン不足、通信インフラの不調等に適宜対処



今後の課題 ～停電への対応～

- 最大震度6強の余震により、丸一日停電
- ポンプ機能喪失によってトイレが使用不可になった。
- ガソリンスタンドも同様の原因と、市民が殺到したこともあり、ガソリンの入達が困難となった。
- 携帯基地局が停止したことにより、携帯が使えなくなり連絡が取れなくなった。
- 被災情報の入手困難

